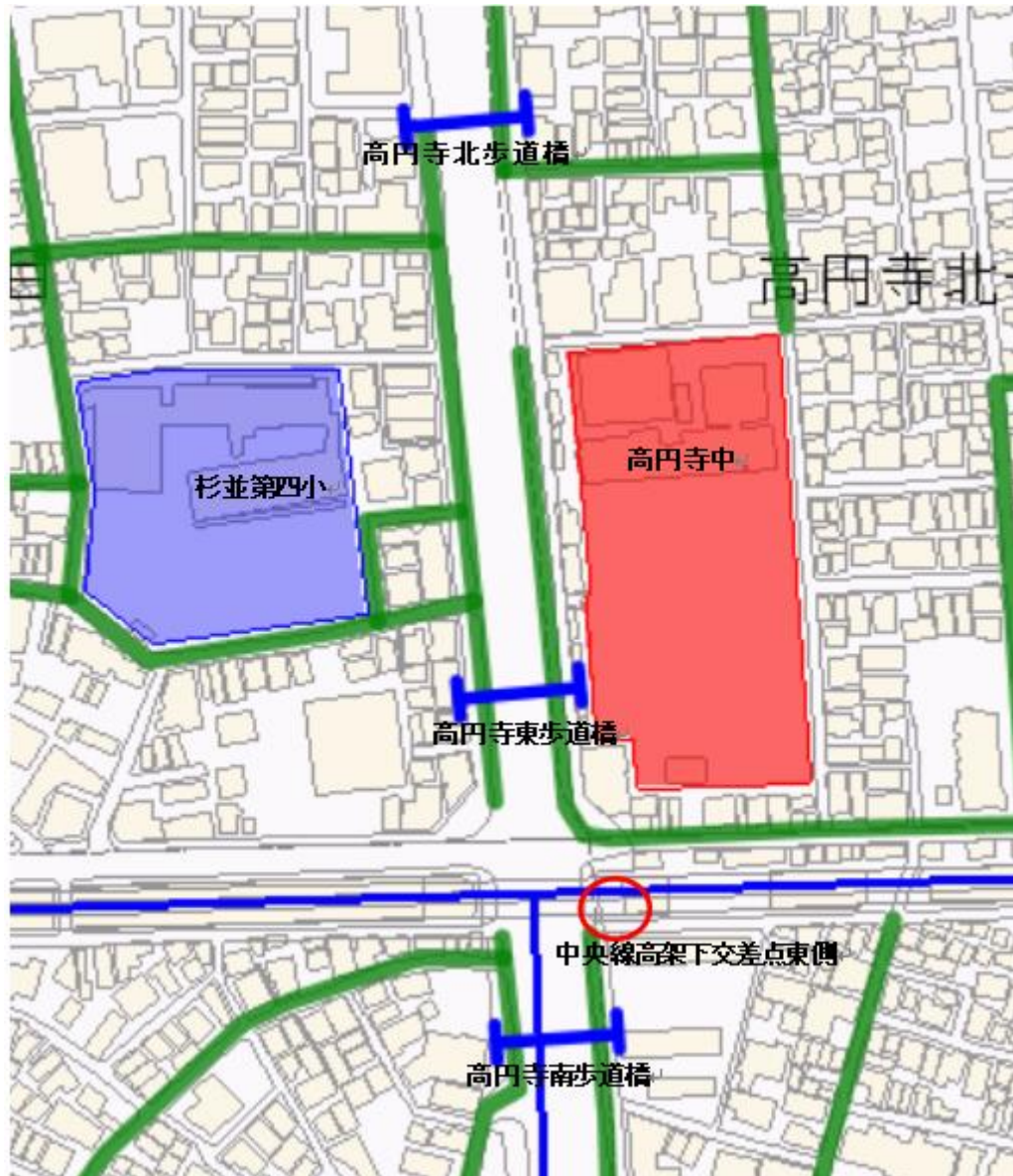


歩道橋改修等についての要望



新校開校以降の高円寺地域歩道橋の利用状況等(検討会の意見)

- ・ 高円寺北歩道橋は、今までは通学も含め地域の方の利用頻度が低かったが、高円寺北2・3丁目の北側地域の児童・生徒は利用する必要がある。
- ・ 高円寺南歩道橋は、高円寺南4丁目の東側の児童・生徒は利用する必要がある。
- ・ 高円寺北歩道橋、高円寺南歩道橋の幅が狭く、雨天時の傘を差しての相互通行が困難である。
- ・ 高円寺北歩道橋、高円寺南歩道橋は、防風フェンスがないため、児童が柵の隙間から覗き込んだり、物を落下させる危険性がある。
- ・ 高円寺北歩道橋、高円寺南歩道橋は、階段下の歩道通行者と階段利用者との接触の危険性があるため、ポールの設置や一部植栽位置見直し等の対策が必要である。

【高円寺北・東歩道橋】



(要望内容)

歩道橋から歩道に降りた地点が、環状七号線の歩道を直進してきた自転車、歩行者と接触する可能性がある。階段下にポールまたは手すり延長等を設置してほしい。

(回答)

ポールの設置は可能である。
平成 31 年 4 月の開校前に設置する。

【高円寺北・南歩道橋】



(要望内容)

歩道橋両脇の手すりが低いため危険。
手すりの高さを上げてほしい。

(回答)

転落防止を目的とした設置基準の値 1.1m 以上の高さが確保されているため、かさ上げは不要。



(要望内容)

下が見えないよう防風フェンスを取り付けてほしい。

(回答)

隙間を塞ぐパネルの設置は可能。
平成 30 年度、31 年度に予定している、北及び南歩道橋の塗装修理工事に合わせて、パネルを設置する。

【高円寺南歩道橋】



（要望内容）

登校時、西側から上り、東側に下りる場合、階段の目の前に植栽があるためスペースが狭く、歩道を走行する自転車との接触事故の危険性が想定される。植栽を切り下げてほしい。

（回答）

植樹帯の改良は困難である。
ポールを設置により対応する。

【中央線高架下交差点東側】



（要望内容）

環状七号線東側を南北方向へ横断する人の数が増加した場合、現在は植栽があるため、歩道の人だまりスペースが狭く危険である。植栽を整理するよう検討してほしい。

（回答）

平成 31 年度の開校後、人の増加状況を見ながら対応を検討する。